



令和8年7月21日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国及びロシア海軍艦艇の動向について

令和8年7月19日（日）午前2時頃、海上自衛隊は、沖ノ鳥島（東京都）の南西約330kmの海域において、同海域を北東進する中国海軍レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「103」）、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「124」）、フチ級補給艦（艦番号「903」）及びロシア海軍ステレグシチー級フリゲート（艦番号「343」）の計4隻を確認した。

その後、沖ノ鳥島の南西約180kmの海域において、中国海軍ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「124」）が射撃訓練を実施したことを確認した。

なお、これらの艦艇は、7月16日（木）に沖縄本島と宮古島の間の海域を南進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊の第2水上戦隊所属「さみだれ」（呉）により、警戒監視・情報収集を行った。

（写真左）射撃訓練を実施する中国海軍ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「１２４」）及び（写真右）ロシア海軍ステレグシチー級フリゲート（艦番号「３４３」）



中国海軍レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「１０３」）



中国海軍ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「１２４」）



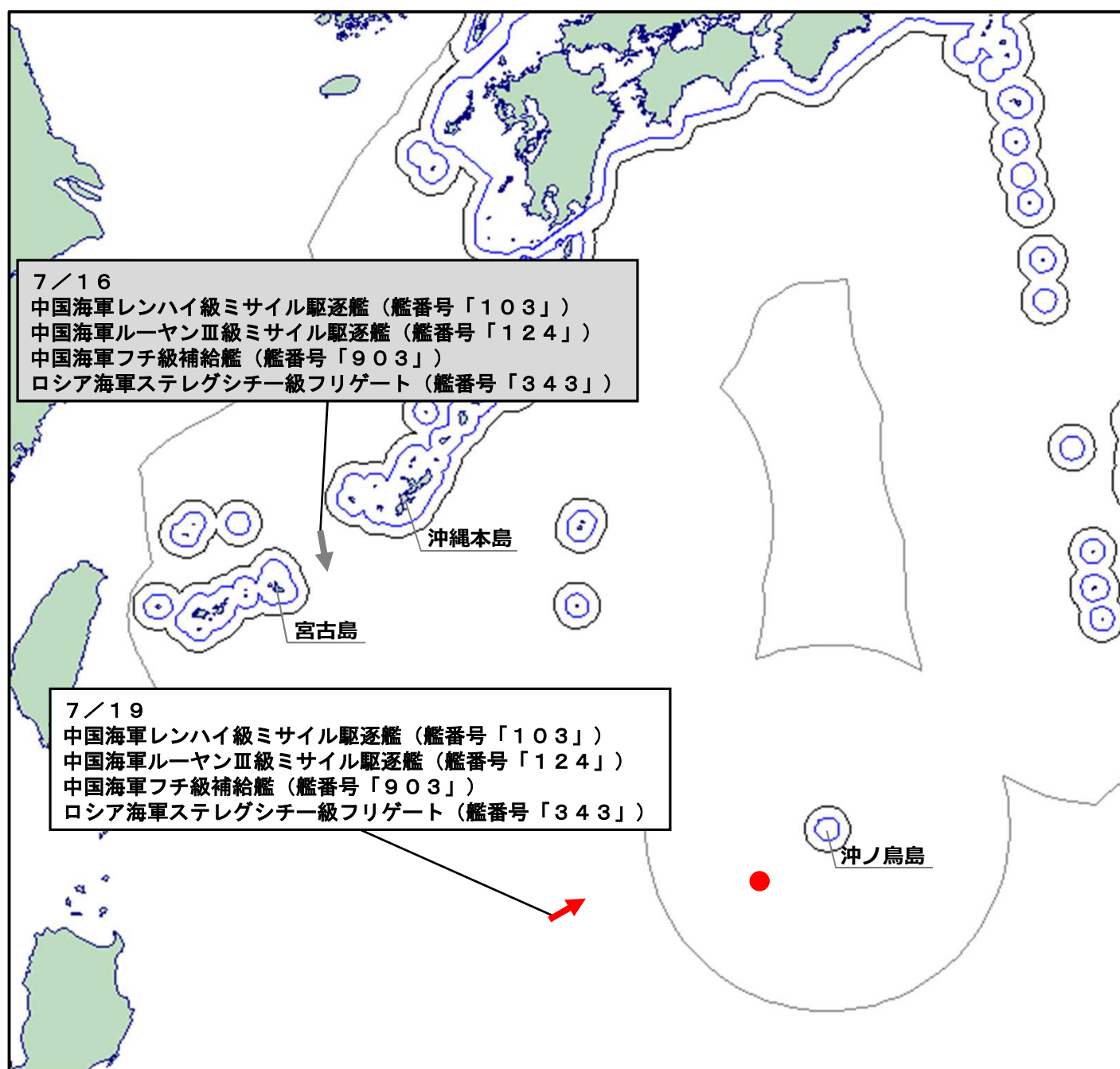
中国海軍フチ級補給艦（艦番号「９０３」）



ロシア海軍ステレグシチー級フリゲート（艦番号「３４３」）



行 動 概 要



- : 中国及びロシア海軍艦艇
- : 射撃実施位置
- : 今回公表
- : 既公表